

令和3年度事業報告

自 令和 3年 4月 1日
至 令和 4年 3月 31日



社会福祉
法人

瀬戸内市社会福祉協議会

○ 総務福祉(本所・牛窓出張所・長船出張所)

1. 地域福祉活動推進事業

(1) 地域福祉活動等支援事業

① 福祉委員(制度)

小地域の福祉力維持・向上を図ることを目的に研修会を企画したが、まん延防止等重点措置が適用されたため中止。当日配布予定だった資料(令和3年度版福祉委員活動のてびき)を、全福祉委員に配布するとともに、地区単位の研修等で活用し、地域での見守りや市社協・地区社協への協力を呼びかけた。

■福祉委員数

	牛窓町	邑久町	長船町	合計
令和3年度	68人	209人	143人	420人
令和2年度	69人	209人	142人	420人

■福祉委員だよりの発行

2カ月に1回(せとうち社協通信と同時)発行し、福祉委員活動を行う上での役立つ情報を提供した。

② ふれあいサロン事業

身近な小地域の中で、住民同士が交流し、健康づくり・仲間づくり等を支援した。

地区名		実施サロン数 令和3年度	実施サロン数 平成2年度
牛窓町	牛窓地区	5	5
	鹿忍地区	6	6
	長浜地区	5	5
邑久町	邑久地区	7	7
	福田地区	4	4
	今城地区	2	2
	豊原地区	4	6
	本庄地区	0	0
	笠加地区	1	1
	玉津地区	0	0
長船町	裳掛地区	2	2
	美和地区	6	6
	国府地区	10	10(1)
	行幸地区	6	8
瀬戸内市全体		1	1
合計		59	63(1)

※ ()は内新規設置サロン数 瀬戸内市全体1

※ 子育てサロン:3カ所(福田地区:1カ所、行幸地区:1カ所、瀬戸内市全体:1カ所)

■サロン代表者交流会

月日	主な内容
中止	岡山県にまん延防止等重点措置が適用されたため中止。 当日配布予定だった資料をサロン代表者へ送付した。

③ 地区社協及び小地域福祉活動推進支援事業

地域の様々な福祉的課題を共有及び解決するために、地区社協等で行われる福祉活動を支援した。

(1) 当該地区の会費実績40%及び共同募金実績の10%を地区社協運営費として助成

(2) 地区社協ごとに担当職員を置き、小地域ケア会議の開催支援等

今城地区、豊原地区、本庄地区、笠加地区、玉津地区、美和地区

(6地区/14地区中)

※鹿忍地区、邑久地区、福田地区、裳掛地区、国府地区は令和2年度に引き続き休止。

(3) 地区社会福祉協議会会長会議

令和3年11月26日(金)に地域福祉活動計画策定の座談会を兼ねて開催し、地域課題や今後の福祉活動について意見交換を行った。

④ ボランティア団体・個人の支援と情報発信

ボランティアの活性化を目的に、ボランティア連絡協議会の定期開催等、ボランティア同士の交流や情報交換の場づくりを中心に推進した。

自宅のできるボランティア活動としてベルマーク・インクカートリッジを集め、市内保育・教育機関へ寄附した。

年4回ボランティア・市民活動センターだよりを発行し、様々なボランティア活動の紹介やセンター機能についての周知・PRした。

■ボランティア連絡協議会定例会等の実施状況

月 日	主 な 内 容
4月 8日(木)	第1回定例会:規約・事業計画・予算等について
6月17日(木)	第2回定例会:※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止
8月19日(木)	第3回定例会:災害時のボランティアコーディネーターについて
10月 21日(木)	第4回定例会:炊き出し練習について、展示パネルについて
11月 1日(月)	炊き出し練習 事前練習の実施(邑久地区コミュニティセンター)
12月16日(木)	第5回定例会:炊き出し練習の実施(邑久地区コミュニティセンター) 参加者 29 人(ボラ連会員、おかやまコープ、民生委員等)
1月20日(木)	活動紹介の展示パネルの作成
2月17日(木)	第6回定例会:※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止
3月1日(火)~ 16日(水)	自宅にて2022年度カレンダーの作成

※ 定例会…偶数月第3木曜日、13:30~15:00

■ベルマーク運動等の実績

寄附先	
牛窓東幼稚園、福田保育園、長船西保育園、邑久幼稚園、今城こども園、国府小学校 邑久保育園	
寄附数	ベルマーク:1,291 枚 インクカートリッジ:155 個

⑤ 夏のボランティア体験事業

市内の中高校生等を対象に、夏休み期間を利用したボランティア体験事業を行った。新型コロナウイルスの感染予防に留意して、「屋外清掃ボランティア」と「自宅での塗り絵作成ボランティア」に限定した内容で募集・実施した。限られた中ではあったが、福祉関係団体・施設の協力により様々な体験を通じて福祉の心を育む機会を提供できた。

■参加中学校・高等学校・大学等 ()内は令和元年度実績 ※コロナ禍の前

学校名等			
牛窓中学校	12人(28人)	邑久高等学校	7人(17人)
邑久中学校	36人(130人)	瀬戸高等学校	2人(1人)
長船中学校	19人(95人)	就実高等学校	1人(4人)
岡山大学教育学部附属中学校	1人(0人)	備前緑陽高等学校	1人(24人)
清心中学校	0人(1人)	西大寺高等学校	0人(1人)
白陵中学校	0人(1人)	岡山城東高等学校	0人(1人)
合計： 8校 参加人数:79人 (合計:11校 参加人数:303人)			

■夏ボラ(清掃ボランティア)受入団体・施設

種 別	名 称	
高齢者・ 障害者施設	特別養護老人ホームせとうち 養護老人ホーム楽々園 特別養護老人ホーム長船荘	地域生活支援センタースマイル にじいろスクエアせとうち
幼稚園・ 児童施設	牛窓ルンビニ保育園 ゆめクラブ	長船ちとせこども園
その他	瀬戸内市中央公民館 瀬戸内市民図書館	瀬戸内市長船スポーツ公園
合計:11カ所		

■夏ボラ(ぬりえ作成ボランティア)ぬりえ配布団体・施設

種 別	名 称	
高齢者施設	特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓 デイサービスセンターうらら 特別養護老人ホームせとうち	養護老人ホーム楽々園 グループホーム星の家 特別養護老人ホーム長船荘
幼稚園 児童施設	あいあい保育園 ゆめクラブ 邑久保育園 今城こども園	裳掛こども園 長船ちとせこども園 長船西保育園 長船東保育園
その他	牛窓町公民館 瀬戸内市中央公民館 瀬戸内市民図書館	瀬戸内市邑久スポーツ公園 瀬戸内市長船スポーツ公園
合計:19カ所		

⑥ 福祉協力校との連携及び協働

市内の各園・学校において、園児・生徒が様々な体験を通して福祉の心を育むことができるように支援した。

■助成金額(こども園・保育園・幼稚園:各2万円、小・中・高等学校:各3万円)

牛窓町	・保育園:ルンビニ・あいあい (2カ所) ・幼稚園:牛窓東 (1カ所) ・小学校:牛窓東・牛窓西・牛窓北 (3カ所) ・中学校:牛窓 (1カ所)
邑久町	・こども園:今城・裳掛 (2カ所) ・保育園:邑久・福田 (2カ所) ・幼稚園:邑久 (1カ所) ・小学校:邑久・今城・裳掛 (3カ所) ・中学校:邑久 (1カ所) ・高等学校:邑久 (1カ所)
長船町	・こども園:長船ちとせ (1カ所) ・保育園:長船東・長船西 (2カ所) ・幼稚園:国府・行幸 (2カ所) ・小学校:美和・国府・行幸 (3カ所) ・中学校:長船 (1カ所)

⑦ 出前福祉講座

市内の小学校を中心に、車いすや高齢者疑似体験セット等を使用し、実際に声の掛け方や支援方法等について授業を実施した。

月 日	学校名	内 容	
7月 5日(月)	行幸小学校	視覚障がい者体験	職員による出前講座
10月22日(金)	邑久中学校	車いす体験	職員による出前講座
10月26日(火)	邑久中学校	車いす体験	職員による出前講座
10月27日(水)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
10月29日(金)	邑久高校	車いす体験	職員による出前講座
11月22日(月)	今城小学校	車いす体験、 高齢者疑似体験	職員による出前講座

⑧ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

昨年に引き続き、昨今の異常気象による災害や地震など突発的に発生する災害に備え、本会でも職員や市民が協力し、設置運営ができるよう訓練を実施した。

開催日時	10月2日(土)9:00 ~ 13:00
会 場	瀬戸内市総合福祉センター
講 師	森本 智喜 氏(日野ボランティア・ネットワーク)
概 要	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症を考慮し、参加者を限定して行った。参加者には、行政職員の他、西大寺青年会議所や市内社会福祉法人の方を招いた。 始めに「災害ボランティアセンターの基本的なこと」を講義形式で学び、その後ワークショップ形式で様々な場面における対応方法について参加者全員で考え、確認する演習を行った。

参加者数	50名			
	(内訳)本会会長及び職員	32名	県社会福祉協議会職員	2名
	市職員	5名	西大寺青年会議所	2名
	日本赤十字社県支部	1名	市内社会福祉法人職員	8名(※オンライン参加)

- ⑨ 各種福祉団体及び当事者団体等支援
当事者団体の自立した運営を側面から支援した。

- ⑩ 日常生活用具貸出事業
車イス貸出し台数(出前講座含む):55台

- ⑪ 社会福祉士養成ソーシャルワーク実習生の受け入れ

大学名	人数	受入期間	備考
日本総合研究所	1人	5日間	前年度からの受け入れ
岡山県立大学	1人	5日間	コロナ禍の影響で実習期間短縮

(2)地域生活支援事業(※受託事業:①~②)

- ① 日常生活自立支援事業(岡山県社協からの受託事業)

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方に対し、生活支援員の協力を得て、福祉サービスの利用や日常生活に必要な金銭の管理を行った。

■現在の利用件数

	牛窓	邑久	長船	合計
利用者	0	5	4	9
支援員	3	2	1	6

- ② 生活福祉資金貸付事業(岡山県社協からの受託事業)

低所得世帯・障がい者世帯等に対する資金貸付事業の相談窓口業務、申込書の受付、償還指導等を行った。また、新型コロナウイルスによる収入減少や失業した世帯に対して特例貸付の相談窓口業務、申込書の受付等を行った。

■通例の貸付件数

		牛窓	邑久	長船	市外	合計
新規借入者	生活福祉資金(小口含む)	0	0	0	—	0
	総合支援資金	0	0	0	—	
償還期間中	生活福祉資金(小口含む)	0	2	0	2	5
	総合支援資金	0	1	0	0	
合計		0	3	0	2	5

■新型コロナウイルスによる特例貸付件数 (貸付決定件数)

		合計
新規借入者	緊急小口資金	92
	総合支援資金(延長・再貸付含む)	226
合計		318

※ 据置期間延長により償還開始は令和5年1月以降

③ 緊急援護資金貸付事業(市社協独自事業)

生計の維持が一時的に困難で窮迫した状況にある生活困窮者に対し、本資金を貸し付け、その世帯の福祉の増進及び自立の促進を図ることを目的として実施した。

	牛窓	邑久	長船	合計
新規借入者	0	1	1	2
償還期間中	0	0	0(1)	0(1)

※()内の数字は、前年度からの引継ぎ件数と合せた合計件数

④ 法人後見事業

市民後見人と共に成年後見人等に就任し、認知症高齢者や知的・精神障害者等の財産管理・身上監護業務を行った。

■受任状況

	牛窓	邑久	長船	その他	合計
受任件数	0(4)	0(1)	0(1)	0(1)	0(7)

※()内の数字は前年度までの受任件数と合せた合計件数

※ 令和3年度末時点の受任件数は7件

(3) 広報活動事業

① 広報誌発行事業

市民の方々に、本会が取り組む様々な地域福祉活動についてより一層理解を深めてもらうため、社協通信を年6回偶数月に発行。

② ホームページ・SNSによる情報発信

ホームページ・SNSの活用により、福祉情報のタイムリーな発信に努めた。また、若い世代への周知の底上げを図るため、フォトコンテストを9月から6カ月間開催した。約150件の作品応募があった。

【フォトコンテストの内容】

・瀬戸内市にかかわる風景や街並み、グルメ、特産物、福祉に関すること等、毎月テーマを設定して画像データ又は動画データファイルを募集(テーマ:瀬戸内市内のあなたが好きな場所、赤い羽根共同募金等)。コンテストは、Instagramを用いて実施。

(4) 共同募金事業

① 瀬戸内市共同募金委員会運営支援事業

中央共同募金会から示された「募金活動実施にあたってのガイドライン」に沿って、各種募金活動を実施した。

■令和3年度目標額:6,400,000円

	牛窓町		邑久町		長船町		合計	
	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数
戸別募金	847,650	1,719	2,229,600	4,484	1,439,058	2,959	4,516,308	9,162
街頭募金			40,581	4			40,581	4
法人募金	281,000	60	437,000	78	299,500	84	1,017,500	222
学校募金			77,531	17			77,531	17
職域募金			500,800	83			500,800	83
イベント募金			10,768	3			10,768	3
その他の募金			74,649	40			74,649	40
合計	1,128,650	1,779	3,366,069	4,705	1,738,558	3,043	6,233,277	9,527

② 災害義援金・支援金の募集

9月末現在、下記義援金・支援金の募金箱を設置中

- ・令和3年7月豪雨災害義援金(広島県)
- ・令和3年8月豪雨災害義援金(青森県、長野県、広島県、福岡県、佐賀県)
- ・令和3年長野県茅野市土石流災害義援金 他

(5) 共助の基盤づくり事業(※受託事業)

① 生活支援サポーター登録者の活動調整

■生活支援サポーター支援実績

支援内容	支援調整件数	延べ支援件数
話し相手・見守り	5	25

② みんなで支えあうまちづくりフォーラム

開催日:令和4年3月12日(土)

場 所:瀬戸内市保健福祉センター ゆめトピア長船 大ホール

内 容:基調講演「誰もが役割と生きがいをもって暮らせるまち」

～つながり続ける地域づくりのために～

講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 中井俊雄 氏

実践発表「このまちでつながり続ける」

邑久地区社会福祉協議会 会長 堀野誠一・副会長 大河原淳一 氏

(ふれあいこども食堂の取り組み)

長浜地区介護予防リーダー 山口伊勢子・的場佐智子・松尾民子 氏

(はつらつ教室でつながる輪)

邑久高等学校 セトリー 観光・活性化グループ

(瀬戸内市アンバサダーズを目指した活動)

参加人数:146人

《同日開催イベント》

○こども用品無料交換会

- ・上記フォーラムと同日・同会場で開催。こども用品の交換を通して、若い世代の共助を推進。

開催にあたっては市内おやこクラブの協力を得て行った。

内 容:こども用品の交換(持ってくるだけ・貰うだけでも可)

- ・こども服、靴、帽子全般
- ・未開封のオムツ
- ・市内の保育園、こども園、幼稚園、小・中学校の制服
- ・未使用の文房具

参加者:137組(359人)※会場に来た人数

○フードドライブ事業

人 数:4人

寄付個数:28件(総重量 5.66キロ)

(6)こどもひろば開催支援業務(※受託事業)

① こどもひろば開催支援業務

安心して子どもを産み、育てることができる地域づくり、人づくりの基盤を作ることを目的に、移動遊び場「プレーカー」に外遊び道具を積載し、市内の公園や公民館等で開催した。

■外遊びを通じた「こどもひろば」の開催状況

月	回数	左記の内 地域主体 の回数	参加した 市民の人数	子育て世代 親子組数	ボランティ アの人数	備考
4月	11回	3回	413人	77組	14人	
5月	4回	0回	85人	26組	4人	新型コロナウイルス感染症の 影響により開催を自粛
6月	1回	0回	18人	0組	0人	
7月	6回	1回	106人	20組	3人	
8月	4回	3回	51人	2組	8人	新型コロナウイルス感染症の 影響により開催を自粛
9月	0回	0回	0人	0組	0人	
10月	12回	1回	329人	86組	0人	
11月	12回	6回	389人	104組	12人	
12月	12回	3回	331人	68組	15人	
1月	10回	2回	229人	56組	8人	新型コロナウイルス感染症の 影響により開催を自粛
2月	4回	1回	48人	10組	5人	
3月	17回	2回	435人	117組	14人	
合計	93回	22回	2,434人	566組	83人	この他、ちくちくボランティア に関わって頂いた人数 63名

■場所別開催一覧

(単位:回)

開催場所		こども園・保育園	幼稚園	子育て支援センター	放課後児童クラブ	行政管轄区域	小・中・高等学校	企業敷地	福祉施設	自治公民館	コミュニティセンター	スポーツ公園	児童遊園	地域公園	お寺・神社	海辺・山・田んぼ	その他	合計
牛窓町	牛窓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	鹿忍	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6
	長浜	0	0	2	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	18
邑久町	邑久	0	0	0	2	15	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	23
	福田	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	今城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊原	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	笠加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3
	本庄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	玉津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	裳掛	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	5
長船町	美和	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	国府	1	0	0	0	15	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	20
	行幸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
合計		2	0	6	2	39	2	1	16	3	3	2	0	9	0	8	0	93
地域主体のみ合計		0	0	0	0	2	1	1	0	3	3	0	0	7	0	5	0	22

■場所別参加者一覧

(単位:人)

開催場所	こども園 保育園	幼稚園	子育て支援センター	放課後児童クラブ	行政管轄区域	小・中・高等学校	企業敷地	福祉施設	自治公民館	コミュニティセンター	スポーツ公園	児童遊園	地域公園	お寺・神社	海辺・山・田んぼ	その他	合計
	参加者 大人	31	6	41	6	429	17	38	96	21	45	14	0	82	0	133	0
参加者 こども	123	49	95	57	485	44	55	159	32	38	12	0	139	0	187	0	1,457
参加者数 ボランティア	0	0	0	0	26	2	0	0	3	9	1	0	32	0	10	0	83
職員	7	3	17	5	169	6	5	37	9	9	18	0	29	0	35	0	349
合計	161	58	153	68	1,109	69	98	292	65	101	45	0	282	0	365	0	2,866

※「参加者 大人」とは、保護者や地域住民、依頼先の保育士・教員、見学者・視察・取材者を含めている。

2. 法人運営・総務等事業

(1) 法人運営

① 法人運営

理事会、評議員会、評議員選任解任委員会の定期開催。

② 地域における公益的な取組

社会福祉事業を担っている社会福祉法人等の専門分野（児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉）を活かしながら、既存の制度だけでは対応しきれない地域の多様な福祉課題に柔軟に対応するためのネットワーク（ささえ愛ネットせとうち）を形成し、「地域における公益的な取組」の実施に向けて「個別支援」と「地域支援」の視点から2つの部会（くらしサポート事業部会・地域サポート事業部会）で協議・検討を行った。

■会議の実施状況

月 日	内 容
5月11日(火)	ささえ愛ネットせとうち 総会
8月27日(金)	ささえ愛ネットせとうち 地域サポート事業部会
8月31日(火)	ささえ愛ネットせとうち くらしサポート事業部会
9月 8日(水)	ささえ愛ネットせとうち 役員会
1月18日(火)	ささえ愛ネットせとうち 役員会
3月 3日(木)	ささえ愛ネットせとうち くらしサポート事業部会
3月 8日(火)	ささえ愛ネットせとうち 地域サポート事業部会
3月31日(木)	ささえ愛ネットせとうち 役員会

■フードドライブ事業の実績（くらしサポート部会）

募集月	協力法人数	寄付食糧件数	食糧の総重量
6月	2法人	1,104件	約451kg
8月	2法人		
10月	3法人		
12月	3法人		
2月	3法人		

※ 偶数月に2～3法人ずつ順番に協力する申し合わせとなっている。

③ 第4期地域福祉活動計画

■計画策定委員会の開催

月 日	内 容
8月 6日 (金)	計画策定の趣旨、策定スケジュール、委員長・副委員長の選出、基本理念・スローガンについて
10月15日 (金)	計画骨子、座談会の内容について
1月14日 (金)	座談会の報告、計画冊子(案)について

■座談会の開催

令和3年11月26日(金)に、計画策定の意見徴収の場として開催し、地区社協関係30名が参加した。令和4年度以降の5年間に、本会と連携して地域で取り組みそうな活動等についてグループワークで協議した。

(2) 総務・庶務・経理

① 福祉センター運営管理

コロナ禍のため、消毒液・サーマルカメラの設置及び始業前と部屋使用後の消毒を行った(緊急事態宣言等が発令されている期間は貸館を中止)。停電時でも災害ボランティアセンターの設置・運営が必要になった際、その役割を果たすことができるように屋上に非常用自家発電設備を設置した。

② 社協バス運行管理

コロナ禍のため利用定員(8~12人)に制限を設けて運行(緊急事態宣言等が発令されている期間は運行を中止)。

	サロン	団 体	地区社協	社協事業	市行政	合 計
令和3年度	7	7	1	0	0	15
令和2年度	1	0	0	0	0	1

③ 社協会員会費

	普通会員会費	特別会員会費	合計
令和3年度	8,723,000円	1,040,000円	9,763,000円
令和2年度	8,714,000円	1,185,000円	9,899,000円

○ 地域包括(瀬戸内市地域包括支援センター) ※受託事業

(1) 総合相談・支援事業

目 的：高齢者及び家族が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活をできるだけ継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における各種社会資源へのつなぎや適切なサービス・制度の利用支援、関係機関との連絡調整等を行うことを目的とする。

実施項目

- ◇高齢者総合相談窓口／実態把握訪問等
- ◇地域包括支援ネットワーク構築

事業実績等

《総合相談対応件数 ※延件数》

※ブランチ事業所の活動実績を含む

月	合計件数	内 訳			
		来所	電話	訪問	その他
4月	644	54	354	165	71
5月	594	64	359	117	54
6月	715	57	439	159	60
7月	666	46	412	149	59
8月	682	46	456	124	56
9月	794	49	540	155	50
10月	819	78	505	144	92
11月	804	77	511	158	58
12月	807	67	561	137	42
1月	709	46	520	92	51
2月	737	39	530	115	53
3月	912	44	647	149	72
合計	8,883	667	5,834	1,664	718

《相談内容別対応件数 ※延件数》

※内容重複有

介護相談	福祉相談	介護予防	認知症	健康相談	虐待・権利擁護	その他
2,848	423	1,291	765	1,189	522	1,342

(2) 権利擁護事業

目 的：様々な場面において、権利侵害を受けている、又は受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、地域で安心して尊厳ある生活を行うことができるよう、予防や対応を専門的に行うことを目的とする。

実施項目

- ◇高齢者虐待の防止及び対応
- ◇消費被害の防止及び対応
- ◇判断力に不安のある方や権利擁護を必要とする方への支援

事業実績等

《内容別対応件数 ※延件数》

成年後見制度活用の促進	日常生活自立支援事業の利用支援	老人福祉施設等措置支援	高齢者虐待への対応	介護保険による契約入所等の支援	消費者被害防止	その他の支援
88	29	42	168	0	9	55

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

目 的：地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントが提供できるよう、地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員等へのサポートを行うことを目的とする。

実施項目

- ◇包括的・継続的ケアマネジメントの環境整備
- ◇個々の介護支援専門員等へのサポート体制整備

事業実績等

《介護支援専門員等に対する個別相談支援件数 ※延件数》 647件

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

目 的：介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、従来の要支援認定の枠にとらわれず、日常生活に支援の必要な高齢者の心身の状況や環境等に応じて、自立した生活を送ることができるよう総合的に支援を行うことを目的とする。

実施項目

- ◇地域ケア個別会議の実施
- ◇指定介護予防支援
- ◇介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援）
- ◇一般高齢者の介護予防活動への参加促進等

事業実績等

≪地域ケア個別会議実施状況≫

月 日	件数	内 容 等
4月15日(木)・22日(木)	2件	【検討ケース】 利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、必要な介護保険サービスやボランティア等の社会資源の導入の妥当性について、ケアプラン原案を基に検討しました。 ◇主に以下のケースについて検討 ・従前の予防給付相当のデイサービス（利用条件あり）の新規利用の必要性 ・自立支援に向けたケース検討・課題整理 【会議構成員】 いきいき長寿課・健康づくり推進課管理栄養士・市民病院理学療法士・岡山県薬剤師会瀬戸内支部 薬剤師・地域包括（ケアマネ・3職種・生活支援コーディネーター） ※ケースにより、健康づくり推進課保健師
5月13日(木)・20日(木)	2件	
6月10日(木)・17日(木)	2件	
7月15日(木)	1件	
8月12日(木)・19日(木)	2件	
9月16日(木)	1件	
10月14日(木)・21日(木)	2件	
11月11日(木)・18日(木)	3件	
12月16日(木)・23日(木)	2件	
1月13日(木)・20日(木)	2件	
2月10日(木)・17日(木)	3件	
3月17日(木)・24日(木)	4件	

≪指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの実施状況≫ ※（ ）内委託分

月	プラン作成 合計件数	予防給付を含む 利用の件数	※総合事業のみ 利用の件数
4月	358(67)	311(62)	47(5)
5月	349(64)	306(58)	43(6)
6月	349(64)	308(59)	41(5)
7月	346(63)	304(58)	42(5)
8月	343(66)	303(61)	40(5)
9月	351(71)	308(64)	43(7)
10月	354(73)	310(65)	44(8)
11月	355(72)	310(64)	45(8)
12月	360(76)	315(68)	45(8)
1月	360(77)	318(68)	42(9)
2月	351(79)	308(71)	43(8)
3月	361(88)	312(74)	49(14)
合 計	4,237(860)	3,713(772)	524(88)

※ 当該月のサービス利用が総合事業（デイ・ヘルパー）のみであった場合の件数例）デイと福祉用具レンタルの場合は従来どおり予防給付での介護予防支援になる

(5) 認知症総合支援事業

目的：今後さらに認知症高齢者の増加が見込まれる現状に対し、各種事業を実施し適切な対応が図れるよう体制整備を行うとともに、地域で支え合うネットワークづくりを目指します。なお、事業実施にあたっては認知症地域支援推進員研修受講職員を中心に、市担当課との協働により推進する。

実施項目

- ◇啓発活動及び理解促進
- ◇当事者支援活動
- ◇ネットワークづくり他

事業実績等

《啓発・理解促進の実施状況》

① 認知症サポーター養成講座

月 日	団体名等	人 数
4月13日(火)	沖ノ庄はつらつ教室	11人
7月12日(月)	西浦はつらつ教室	12人
7月16日(金)	裳掛小学校 5.6年生	5人
8月 3日(火)	中国銀行 牛窓支店	10人
8月11日(水)	玉津地区小地域ケア会議	7人
9月 7日(火)	牛窓中学校 3年生	34人
11月17日(水)	邑久高校 2年生	23人
11月24日(水)	西脇ハッピーサロン	21人
12月17日(金)	福岡ふれあいサロン	26人
1月15日(土)	中井団地ふれあいサロン	中止
2月 4日(金)	長船げんき会	中止
3月17日(木)	小向ふれあいサロン	16人

※ 市内認知症サポーター数 3,819人(延人数)

② 認知症サポーターフォローアップ講座(認知症マイスター検定へ移行)

月 日	内 容
11月22日(月)	3級 傾聴について学ぼう 講師：傾聴ボランティアとよあけ 小菅もと子 氏
1月17日(月)	2級 考えよう！あったらいいな♪こんな活動 講師：倉敷市認知症マイスター 實光明子 氏
3月14日(月)	1級 検定試験・目標発表・認定証交付

※マイスター登録者数 9人

③ 認知症キャラバンメイト連絡会

月 日	内 容
12月13日(月)	・キャラバン・メイト自己紹介、交流 ・瀬戸内市認知症事業紹介 ・キャラバン・メイトグッズ披露、授与

※ キャラバンメイト登録者数 54人

《当事者支援活動の実施状況》

④ 認知症介護家族の交流会

月 日	内 容	人 数
5月11日(火)	座談会・新聞記事紹介	8人
7月 6日(火)	座談会・サポートブック紹介、相談	8人
9月 7日(火)	中 止	—
11月 2日(火)	座談会	10人
1月11日(火)	座談会・研修内容の検討	7人
3月 1日(火)	中 止	—

⑤ 認知症カフェ『つくしカフェ』

- ・ボランティア『つくし隊』の協力により開催継続
- ・イベント内容によって人数と会場の広さを考慮し、大会議室を利用

月 日	内 容	人 数
4月 6日(火)	エンディングノートセミナー ～学ぼう！終活のいろは！～	21人
6月 1日(火)	中 止	—
8月 3日(火)	うたかたんず summer song♪	25人
10月 5日(火)	めんそ～れ三線！	30人
12月 7日(火)	フルーツコンサート& クリスマス飾り作り	17人
2月 1日(火)	中 止	—

※ 特養せとうちで行われる『喫茶せとうち』は今年度開催見送り

⑥ 認知症高齢者徘徊模擬訓練

月 日	内容・実施地域	人 数
10月 6日(水)	玉津地区小地域ケア会議 『あったか声かけ訓練』	16人

- ⑦ 認知症初期集中支援チーム員会議への出席（トータルサポートセンター主催・月1回開催・2名出席）
今年度は、2名の職員がチーム員研修を受講し、事業に携わっている。

(6) 生活支援体制整備事業

目 的：介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化及び社会参加の促進を一体的に図るために、生活支援コーディネーターを配置し、以下の業務を行う。

実施項目

◇高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備推進 ◇協議体との連携

事業実績等

《生活支援・介護予防サービスの体制整備状況》

- ① 体操を中心とした通いの場づくり（はつらつ教室の立ち上げ・0B会支援）

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言・まん延防止等重点措置に伴い、下記の通り協力要請を行った。

期 間	協力内容
5月16日(日)～6月20日(日)(5週間)	活動自粛を要請した
8月20日(金)～9月30日(木)(6週間)	
1月27日(木)～2月20日(日)(3週間)	活動自粛の要請は行わず、各会場に開催の判断をお願いした
2月21日(月)～3月6日(日)(2週間) ※3月末時点で活動しているOB会会場数：102カ所中92カ所	

また、開催中であった東谷はつらつ教室についてはまん延防止等重点措置期間は休止とし、令和4年3月10日(木)から再開。令和4年4月7日(木)に最終回を迎え、OB会となる予定。

② 介護予防リーダー養成研修等への協力(市いきいき長寿課主催)

月 日	内 容	参加人数
4月16日(金)	介護予防リーダー派遣調整会議(介護予防リーダーがはつらつOB会へ派遣する日時を調整)	26人
2月25日(金)	介護予防リーダーさんの定例会 ※まん延防止等重点措置期間のため中止	

月 日	内 容	参加人数
10月7日(木)～11月25日(木)	介護予防リーダー養成研修(第7期) (8回シリーズで開催)	3人
1月13日(木)、 3月10日(木)	アフター研修 (上記研修後のフォローとして開催)	

月 日	内 容	参加人数
10月5日(火)～10月19日(火)	ゴムプロ講座(介護予防リーダー向けのゴム体操のプロを目指す講座を開催)	10人

③ その他

- ・新規教室の立ち上げの際のプログラム(13回)を見直しました。見直し内容については、教室内の講話内容と、より専門的な話ができるように専門職が派遣された。
今後、新規教室の立ち上げの際に新プログラムを実施。
- ・令和4年度、年4～6回リーダーさんの定例会を開催予定。

④ 出前講座・啓発活動

月 日	団体名等	内 容	参加人数
4月9日(金)	小向サロン	体操紹介	22人
4月17日(土)	友愛会	支え合いの地域づくりについて	26人
7月5日(月)	行幸小学校	障害福祉を学ぶ授業	56人
7月10日(土)	邑久地区民生委員会	はつらつ教室・生活支援について	13人
11月12日(金)	福岡プラザさわやかサロン	体操紹介	28人
11月17日(水)	牛窓老人クラブ	健康講話と体操紹介	116人
12月2日(木)	小向サロン	棒体操など紹介	14人
12月10日(金)	真徳老人クラブ	フレイル予防と体操	15人
1月19日(水)	浜区サロン	認知症について講話と棒体操紹介	7人
3月8日(火)	シニアGG大会	ストレッチ体操紹介	105人
3月15日(火)	国塩ふれあい錦会サロン	筋肉について講話と体操紹介	13人
3月30日(水)	幡老人クラブ	はつらつ教室について紹介	13人
3月31日(木)	小山薬局健康教室	ストレッチ体操紹介	12人

○ 障害者計画相談支援事業所

(1) 指定特定相談支援事業

目的：障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、障がい者の選択に基づき適切な障害福祉サービス等が、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されるよう支援を行う。

支援内容

- ◇生活全般に関する相談
- ◇地域の障害福祉サービス事業者等の情報提供
- ◇サービス等利用計画の作成
- ◇訪問によるモニタリング
- ◇その他必要な相談支援、助言等

≪指定特定相談支援の実施状況≫

月	新規担当件数	継続担当件数	合計担当件数
4月	0件	6件	6件
5月	0件	6件	6件
6月	1件	6件	7件
7月	0件	7件	7件
8月	0件	7件	7件
9月	0件	7件	7件
10月	0件	7件	7件
11月	0件	7件	7件
12月	0件	7件	7件
1月	0件	7件	7件
2月	0件	7件	7件
3月	0件	7件	7件

○ 権利擁護（瀬戸内市権利擁護センター） ※受託事業

国の成年後見制度利用促進計画に基づいて設置される「中核機関」としての機能をスタート（正職員2→3人体制）。権利擁護支援を必要とする市民に、迅速に適切な支援を繋げるため、各関係機関やチームで構成された「権利擁護支援のネットワーク」の中心となって全体のコーディネートを行う。

1. 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営に係る業務

① 運営委員会の開催

	月 日	内 容
第1回	5月26日(水)	令和2年度事業報告並びに決算報告 中核機関に関する取り組み状況
第2回	3月23日(水)	中核機関設置後の取り組みについて 令和4年度事業計画並びに収支予算

② 支援検討委員会の開催

	月 日	内 容
第1回	4月28日(水)	新規1件 ・生活困窮及びひきこもり単身者への支援
第2回	6月23日(水)	新規1件 ・複合的な問題を抱える生活困窮者世帯の支援
第3回	7月28日(水)	新規1件 ・ひきこもり世帯への支援の振り返り
第4回	8月25日(水)	継続1件 ・生活困窮及びひきこもり単身者の経過報告
第5回	9月22日(水)	新規1件 ・親族と疎遠な認知症高齢者の成年後見制度申立支援(市長申立)及び受任調整
第6回	10月27日(水)	新規1件 ・家族にも支援が必要な認知症高齢者の成年後見制度申立支援及び受任調整
第7回	11月24日(水)	新規1件 ・成年後見制度への利用意向が家族と異なる本人への中核機関としての支援
第8回	12月22日(水)	新規1件 ・ひきこもりの息子と暮らす母への支援
第9回	1月26日(水)	継続1件 ・被保佐人(知的障がい者)への追加選任と家庭裁判所との連携について
第10回	2月16日(水)	・社協法人後見事業の現状と課題について (法人後見運営委員会として開催)

③ 権利擁護事例研究会の開催

	月 日	内 容
第1回	4月 7日(水)	本年度の研究会実施等に係る関係者打ち合わせ
第2回	5月12日(水)	事例研究:ひきこもりの方への支援
第3回	6月 2日(水)	ミニ講義:成年後見人等の意志決定支援に関するガイドライン(改訂版)の解説(竹内アドバイザー)
第4回	7月 7日(水)	事例研究:サービス利用に困難を抱える精神障がい者の支援
第5回	8月 4日(水)	ミニ講義:成年後見と相続について(守田アドバイザー)
第6回	9月 1日(水)	事例研究:経済的に課題のある被保佐人の支援
第7回	10月 6日(水)	ミニ講義:生活困窮者への伴走型支援(新名アドバイザー)
第8回	11月10日(水)	事例研究:複合的課題のある単身高齢者の支援
第9回	12月 1日(水)	ミニ講義:在宅療養のしおりについて
第10回	1月 5日(水)	事例研究:家族関係に課題のある認知症高齢者について
第11回	2月 2日(水)	ミニ講義:大人の発達障害
第12回	3月 2日(水)	事例研究:日常生活自立支援事業利用者の支援

④ 障がい者権利擁護研修会

開催日:令和4年1月12日(水)

場 所:瀬戸内市総合福祉センター2階 大会議室

内 容:講義「地域で虐待を防止するために～私たちの支援観を振り返る～」

講師 公益社団法人 岡山県社会福祉士会

障害者権利擁護センター 運営委員 山崎 弘一 氏

参加人数:合計18人(就労継続支援事業所、相談支援事業所、行政など)

⑤ 高齢者・障がい者生活なんでも相談会（くらしの困りごと相談会）

（第1回）日 時：10月30日（土）13：30～16：00

場 所：瀬戸内市総合福祉センター

相談員：地元士業及び権利擁護アドバイザー（弁護士、司法書士、行政書士、
税理士、社会保険労務士、土地家屋調査士）

いきいき長寿課、福祉課、地域生活支援センタースマイル、

社協地域福祉係、地域包括支援センター、生活相談支援センター

相談件数：14件

（第2回）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

⑥ 権利擁護に関するワンストップ相談窓口業務

《受付件数・支援回数》

月	新規件数（実数）	継続件数（実数）	支援回数
4月	10	8	173
5月	4	11	79
6月	4	14	130
7月	6	13	157
8月	7	11	139
9月	8	12	154
10月	6	19	214
11月	3	21	249
12月	9	16	166
1月	6	15	226
2月	4	14	163
3月	9	13	228
合計	76	167 ^②	2078

今年度月平均	6.3	13.9	173.1
前年度月平均	7.4	11.1	124.9

※継続件数の合計件数は相談対象者の重複あり。

《相談内容・回数》

月	虐待	DV	成年後見 制度	介護問題	金銭問題	入院・ 入所問題	消費者 被害	その他	月合計
4月	83	0	82	0	0	0	0	8	173
5月	46	0	26	2	2	0	0	3	79
6月	79	0	25	3	10	1	0	12	130
7月	23	0	74	0	34	25	0	1	157
8月	21	1	71	2	37	0	0	7	139
9月	38	2	85	0	23	0	0	6	154
10月	57	0	94	3	16	21	0	23	214
11月	57	0	152	10	25	2	0	3	249
12月	56	2	67	13	25	3	0	0	166
1月	96	7	58	0	59	1	0	5	226
2月	87	15	21	2	35	3	0	0	163
3月	116	15	63	3	12	8	0	11	228
合計	759	42	818	38	278	64	0	79	2078

《支援内容・回数》

月	訪問	電話	来所	メール	ケース会議	経過報告	経過報告付随相談	所内会議	AD相談	その他	月合計
4月	9	57	6	0	10	41	40	5	5	0	173
5月	5	35	1	0	3	12	17	3	2	1	79
6月	5	38	6	13	8	31	26	2	1	0	130
7月	11	43	3	2	4	43	49	0	2	0	157
8月	9	39	4	3	10	35	31	6	2	0	139
9月	14	40	5	3	3	34	41	7	7	0	154
10月	12	28	7	7	12	72	64	2	10	0	214
11月	15	57	12	3	12	87	49	2	8	4	249
12月	11	18	16	0	7	66	41	1	6	0	166
1月	5	55	13	9	8	91	35	6	4	0	226
2月	6	28	15	12	7	54	32	2	7	0	163
3月	7	41	27	7	5	77	57	4	1	2	228
合計	109	479	115	59	89	643	482	40	55	7	2078

(2) 虐待対応業務

① 虐待対応実績

相談件数	直接的対応 (訪問・電話・来所等)	間接的対応 (連絡調整・会議等)	終結件数
47 (内21件前年度継続)	353	460	20

(3) 成年後見業務

① 後見人等候補者リストの作成

月 日	内 容	備 考
7月16日(金)	後見人等候補者リスト説明会	登録件数：法人7、個人12

② 成年後見制度利用支援実績

相談件数	直接的対応 (訪問・電話・来所等)	間接的対応 (連絡調整・会議等)	申立件数
26 (内4件前年度継続)	270	426	3

※終結件数 14件 (内2件 前年度継続)

2. 市民後見推進事業

(1) 市民後見推進事業

① 市民後見人養成事業

月 日	内 容	備 考
8月 5日 (木)	市民後見人事前説明会	8人参加
8月25日 (水)	選考会(書類審査・面接)	5人選考・5人受講決定
10月24日 (日) ～12月12日 (日)	岡山県主催研修 (7日間)	
1月13日 (木) ～2月3日 (木)	瀬戸内市 主催講座 (3日間)	見学見学、面談同行、講義
2月16日 (水) 3月2日 (水)	バンク登録意向確認面接 ※2回に分けて実施した。	5名バンク登録意向確認
3月23日 (水)	権利擁護センター運営委員会	5名を市へ推薦

市民後見人バンク登録者数：17名 (内、受任・活動者数：6名)

※上記に令和3年度養成者5名が新たにバンク登録することとなる。

② 市民後見人バンク登録者へのフォローアップ研修

回数	月 日	内 容	備 考
第1回	7月30日 (金)	令和3年度フォローアップ研修について	7人出席
第2回	11月17日 (水)	権利擁護フォーラム	6人出席

③ 市民後見人普及セミナー

開 催 日：令和4年3月17日 (木)

場 所：瀬戸内市総合福祉センター

内 容：「成年後見制度で支えよう！」

①講義「聞いて安心！成年後見制度」

講師：おかやまパブリック法律事務所 副所長

社会福祉士 尾崎 力也 氏

②市民後見人の活動報告

発表：市民後見人2名

参 加 者：20名

○ 生活相談 (瀬戸内市生活相談支援センター) ※受託事業

生活相談支援センターでは、生活困窮者が抱える多様で複合的な相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、自立支援計画(プラン)の作成等の支援を各関係機関と連携を図りながら、一体的かつ計画的に実施し、「生活困窮者の自立の促進」、「生活困窮者支援を通じた地域づくり」を目的に事業を実施。

1. 自立相談支援事業、家計改善支援事業の実施

① 相談事業実績

《相談実績(実数)》

月	新規相談受付 件数	自立支援計画（プラン）作成件数	
		自立相談支援事業による就労支援	家計改善支援事業
4月	22	1	—
5月	12	—	—
6月	28	—	1
7月	13	—	—
8月	19	1	2
9月	11	—	—
10月	9	1	1
11月	9	—	—
12月	8	2	—
1月	5	—	—
2月	12	—	1
3月	7	—	—
計	155	5	5

※自立支援計画（プラン）作成件数は、再プラン件数を含む

《相談内容（延数）》

相談内容別 件数	収入・生活費	税金・公共料金の 支払い	家賃・ローンの支払い
	146件	33件	11件
	生活福祉資金	債務について	病気・障がい
	117件	65件	45件
	仕事探し・就職	仕事上の不安や トラブル	子育てについて
	18件	75件	11件
	家族関係	DV・虐待	介護
	31件	2件	5件
	ひきこもり・不登校	地域との関係	食べる物が無い
	2件	3件	8件
	住まい	その他	
21件	14件	計 607 件	

《支援内容（延数）》

支援内容別 件数	来所	電話	訪問・同行支援	所内会議
	418件	1,077件	271件	686件
	支援調整会議 (プラン策定・評価)	他機関との会議 (支援調整会議除く)	他機関への 電話照会・協議	その他
23件	61件	459件	105件	

計 3,100 件

② 支援調整会議の開催

支援調整会議は、相談者に対する自立支援計画（プラン）の適切性の協議、支援決定、終結時の評価、各支援機関による情報共有等を目的に開催。

回	日程	内容
第1回	4月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 自立相談支援事業による就労支援の終結 1件 家計改善支援事業の終結 3件
第2回	6月17日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 家計改善支援事業の決定 1件 家計改善支援事業の終結 2件
第3回	8月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 家計改善支援事業の決定 2件 家計改善支援事業の終結 1件
第4回	10月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業による就労支援の決定 1件 家計改善支援事業の決定 1件 家計改善支援事業の終結 1件
第5回	12月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業による就労支援の決定 2件 自立相談支援事業による就労支援の終結 2件 家計改善支援事業の終結 1件
第6回	2月21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 家計改善支援事業の決定 1件 家計改善支援事業の終結 1件

2. 地域支援ネットワークの推進

① 生活困窮者自立支援ネットワーク会議の開催

生活困窮者自立支援ネットワーク会議は、関係機関及び関係者のネットワークを構築し、事業に関する情報共有、地域における支援体制の検討を行い、生活困窮者に対する包括的な支援を効果的に実施することを目的に開催。

回	月日	内容	出席委員等
第1回	6月18日(金)	【生活相談支援センター】 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業報告について 令和3年度事業計画について 意見交換 【ひきこもりサポートセンターひなた】 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業計画について 意見交換 	ネットワーク会議委員 12人 アドバイザー 2人 オブザーバー 1人 事務局 4人 <u>計 19人</u>
第2回	12月21日(火)	【生活相談支援センター】 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度取り組み状況について 意見交換 【ひきこもりサポートセンターひなた】 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 瀬戸内市ひきこもりサポートセンターひなたの取り組み状況について 意見交換 	ネットワーク会議委員 13人 アドバイザー 2人 オブザーバー 2人 事務局 4人 <u>計 21人</u>

※令和3年度より、ひきこもりサポートセンターと合同で開催

○ ひきこもり（ひきこもりサポートセンター） ※受託事業

ひきこもり状態にある者の自立をす推進することを目的に、ひきこもり状態にある者及びその家族に対する支援を行うひきこもりサポート事業を実施。

1. ひきこもり支援事業の実施

① ひきこもりに関する相談業務

《月別相談状況（実数）》

	新規件数	継続件数	合計件数
4月	5	－	5
5月	10	5	15
6月	2	15	17
7月	3	17	20
8月	2	20	22
9月	1	22	23
10月	4	23	27
11月	6	27	33
12月	1	33	34
1月	2	34	36
2月	4	36	40
3月	2	40	42

《性別および年齢別（実数）》

年齢別	男性	女性	合計
13～19歳	4	2	6
20～29歳	4	3	7
30～39歳	4	3	7
40～49歳	11	2	13
50～59歳	7	1	8
60～64歳	0	0	0
65歳以上	1	0	1
合計	31	11	42

《相談者別（実数）》

相談者別	人数
本人のみ	14
本人と家族	13
家族のみ	12
支援機関	3
合計	42

《支援内容（延数）》

	来所相談	訪問	電話	メール	他機関との会議	他機関との電話照会・協議	所内会議
4月	11	3	0	0	1	1	4
5月	22	4	4	4	5	3	0
6月	23	10	21	6	1	0	3
7月	21	13	31	0	1	2	8
8月	16	10	10	0	0	8	14
9月	16	16	15	0	4	5	9
10月	18	12	23	0	2	1	5
11月	13	12	17	0	7	7	9
12月	14	11	10	2	4	0	1
1月	12	10	9	0	3	2	3
2月	12	13	4	0	0	2	3
3月	11	8	4	0	0	1	3
合計	189	122	148	12	28	32	62

② 内職・軽作業支援

内職・軽作業支援は、ひきこもりサポートセンターが内職事業者とひきこもり状態にある者の間に入り、ひきこもり状態にある者の社会参加を支援することを目的とする。

《月別支援状況》

	新規件数（実数）	継続件数（実数）	支援回数（延数）
4月	—	—	—
5月	—	—	—
6月	1	—	0
7月	0	1	48
8月	0	1	45
9月	0	1	33
10月	0	1	32
11月	3	1	47
12月	1	4	47
1月	2	5	33
2月	2	7	29
3月	0	8	62

③ 居場所支援

ひきこもり状態にある本人が同様な状態にある者と安心して過ごすことができ、社会参加の第一歩となる居場所づくりを目的とする。

開催日：10月より毎週火曜日・木曜日13:30～16:30

場所：瀬戸内市総合福祉センター2階

	新規件数（実数）	継続件数（実数）	支援回数（延数）
4月	—	—	—
5月	—	—	—
6月	—	—	—
7月	—	—	—
8月	—	—	—
9月	—	—	—
10月	1	—	1
11月	2	1	19
12月	2	3	10
1月	1	5	11
2月	1	6	10
3月	0	7	26

④ ひきこもりに関する普及啓発活動

市民講座（新型コロナウイルス感染症の影響により録画配信へ変更）

期間：令和4年2月28日（月）～令和4年3月31日（木）

内容：『今、あらためてひきこもりを知る - ひきこもるところの理解と地域ができること - 』

講演1：『私の経験～ひきこもった経験から現在までのこと～』

講師：KHJ 岡山きびの会 共同代表 浅山広大 氏

講演2：『ひきこもるところの理解と孤独孤立を防ぐ支援』

講師：岡山県精神保健福祉センター 所長 野口正行 氏

⑤ ひきこもりサポーター養成講座

本講座はひきこもり状態にある方の活動のサポート、居場所づくり等に協力いただける市民を広く募集し、サポーターとして養成することを目的とする。

	内 容	参加者数
第1回	ひきこもりの方を支えるために① ～ ひきこもりの理解とボランティア活動の心構え ～ 【講師】 ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 人間生活学科 准教授 中井 俊雄	15人
第2回	ひきこもりの方を支えるために② ～ 支援機関の役割、活動を聞いてみよう ～ 【講師】 瀬戸内市社会福祉協議会 ひきこもりサポートセンターひなた 主任 黒川 明宏	14人
第3回	ひきこもりの方を支えるために③ ～ 多様な生き方を支える居場所づくりについて ～ 【講師】 総社市社会福祉協議会 ひきこもり支援センターワンタッチ センター長 大柳 堅司	14人
第4回	ひきこもりの方を支えるために④ ～ 私たちができる活動、居場所づくりを考えてみよう ～ 【講師】 ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 人間生活学科 准教授 中井 俊雄	14人

※ サポーター登録者数 14人

2. ひきこもり支援ネットワークの推進

① 生活困窮者自立支援ネットワーク会議の開催

※ 生活困窮者自立支援ネットワーク会議は生活相談支援センターと合同で開催のため、生活相談支援センター事業の項目を参照。

② 瀬戸内市ひきこもりサポート会議の開催

ひきこもりサポート会議は、瀬戸内市におけるひきこもり支援の推進に関し、必要かつ具体的な活動等を実際に不登校・ひきこもり支援に携わる関係機関の実務者で検討すること、また顔の見える関係づくりを行うことを目的として開催。

	月 日	内 容	参加機関
第1回	8月 5日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポート会議について ・各関係機関の役割について ・ひきこもり・不登校支援について ・市民講座について 	地域生活支援センタースマイル、せとうち旭川荘、教育委員会総務学務課、適応指導教室「のぞみ」、こども・健康部子育て支援課、こども・健康部健康づくり推進課、福祉部トータルサポートセンター、福祉部いきいき長寿課、福祉部福祉課、地域包括支援センター、権利擁護センター、生活相談支援センター
第2回	11月19日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもり・不登校支援の課題と対策について ①支援で困っていること・悩んでいること・課題に感じていること ②必要な支援・取り組み・仕組み 	地域生活支援センタースマイル、せとうち旭川荘、適応指導教室「のぞみ」、備前保健所保健課、こども・健康部子育て支援課、こども・健康部健康づくり推進課、福祉部トータルサポートセンター、福祉部いきいき長寿課、福祉部福祉課、地域包括支援センター、権利擁護センター、生活相談支援センター
第3回	1月21日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> 第2回を受けて ①アセスメントシートについて ②ひきこもりケースにおける機関連携について ③ひきこもりケースのマネジメントについて 	地域生活支援センタースマイル、せとうち旭川荘、教育委員会総務学務課、こども・健康部子育て支援課、こども・健康部健康づくり推進課、福祉部トータルサポートセンター、福祉部いきいき長寿課、福祉部福祉課、地域包括支援センター、権利擁護センター、生活相談支援センター

③ 学校・教育委員会との連携

中学校卒業後の支援を見据えた学校・教育委員会との連携として、各中学校の不登校対策会議及びケース会議に参加。

	月 日	内 容	ケース数
牛窓中学校	7月13日 (火)	ケース会議	1
〃	10月22日 (金)	健康づくり推進課・中学校の不登校連絡会	8
〃	3月15日 (火)	健康づくり推進課・中学校の不登校連絡会	9
邑久中学校	6月24日 (木)	第2回不登校対策委員会	19
〃	10月7日 (木)	第4回不登校対策委員会	24
〃	11月18日 (木)	第5回不登校対策委員会	24
〃	11月2日 (火)	ケース会議	1
〃	12月16日 (木)	第6回不登校対策委員会	24
〃	1月21日 (金)	健康づくり推進課・中学校の不登校連絡会	24
〃	3月17日 (木)	第7回不登校対策委員会	24
長船中学校	7月 8日 (木)	第2回不登校生徒等支援委員会	5
〃	10月21日 (木)	健康づくり推進課・中学校の不登校連絡会	7
〃	11月 9日 (火)	第3回不登校生徒等支援委員会	4
〃	1月18日 (火)	第4回不登校生徒等支援委員会	3
〃	3月22日 (火)	健康づくり推進課・中学校の不登校連絡会	9